



## 平成28年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成28年2月4日

上場会社名 株式会社銀座ルノアール 上場取引所 東  
 コード番号 9853 URL http://www.ginza-renoir.co.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小宮山 誠  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役副社長 (氏名) 猪狩 安往 TEL 03-5342-0881  
 四半期報告書提出予定日 平成28年2月12日 配当支払開始予定日 ー  
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無  
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成28年3月期第3四半期の連結業績（平成27年4月1日～平成27年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第3四半期	5,701	5.7	337	14.7	360	11.6	228	42.9
27年3月期第3四半期	5,394	6.2	294	△29.4	322	△27.8	160	△27.1

(注) 包括利益 28年3月期第3四半期 229百万円 (40.8%) 27年3月期第3四半期 163百万円 (△30.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第3四半期	37.76	37.21
27年3月期第3四半期	26.47	26.08

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
28年3月期第3四半期	6,479	5,439	83.4	893.25
27年3月期	6,681	5,337	79.4	876.69

(参考) 自己資本 28年3月期第3四半期 5,402百万円 27年3月期 5,302百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	0.00	—	10.00	10.00
28年3月期	—	0.00	—		
28年3月期(予想)				10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

### 3. 平成28年3月期の連結業績予想（平成27年4月1日～平成28年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,782	7.6	448	58.6	460	39.3	244	△1.1	40.50

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無  
新規 ー社 (社名) ー、除外 ー社 (社名) ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

(注)詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	28年3月期3Q	6,252,004株	27年3月期	6,252,004株
② 期末自己株式数	28年3月期3Q	203,526株	27年3月期	203,526株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	28年3月期3Q	6,058,296株	27年3月期3Q	6,048,500株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

なお、業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府による経済政策や金融緩和により企業の収益や雇用情勢は、緩やかな回復基調で推移いたしました。

一方で、新興国経済の減速懸念、個人消費における節約志向により、依然として先行き不透明な状況となっております。

当社グループが属する喫茶業界におきましては、原材料価格の高騰や人件費の上昇に加え、出店立地の選択において、競合各社による競争も激化しており、依然として厳しい経営環境が続くものと思われまます。

このような状況の中、当社グループは平成27年4月ミヤマ珈琲グランエミオ大泉学園店及び新宿西ロー丁目店、6月横浜西口北幸店、12月有楽町駅前店を新規オープンし、平成27年7月新業態として溜之岬珈琲銀座インズ店を改装オープンいたしました。

今後も、更にお客様に求められる価値観を提供し続けることが出来るよう、より高品質の商品やホスピタリティあふれるサービスの提供に努めてまいります。

また、「FC開発部門」を創設し、フランチャイズ方式による全国展開を視野に入れた出店政策に努力していましたが、平成27年9月ミヤマ珈琲熊本光の森店、10月ミヤマ珈琲熊本田崎店をオープンいたしました。

店舗数につきましては、平成27年8月浅草新仲見世通り店を閉店いたしましたので121店舗（内3店舗はFC）となりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は5,701百万円（前年同期比307百万円増）、営業利益は337百万円（前年同期比43百万円増）、経常利益は360百万円（前年同期比37百万円増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は228百万円（前年同期比68百万円増）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## 資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、6,479百万円となり前連結会計年度末に比べ202百万円の減少となりました。これは主に、現金及び預金が163百万円、敷金及び保証金が56百万円減少したこと等によるものであります。

負債は1,040百万円となり前連結会計年度末に比べ303百万円の減少となりました。これは主に、未払法人税等が66百万円、賞与引当金が59百万円、その他流動負債が137百万円、リース債務が37百万円減少したこと等によるものであります。

また、純資産は5,439百万円となり前連結会計年度末に比べ101百万円の増加となりました。これは主に、利益剰余金が168百万円増加したこと等によるものであります。

以上の結果、自己資本比率は83.4%（前連結会計年度末は79.4%）となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づいておりますが、実際の数値は今後様々な要因によって、予想数値と異なる可能性があります。なお、通期の業績予想につきましては、現時点では平成27年5月14日の「平成27年3月期決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はございません。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

### (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積もり、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

### (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

#### 会計方針の変更

##### （企業結合に関する会計基準等の適用）

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。）及び「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。）等を第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更しております。また、第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更しております。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第3四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及び事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

これによる損益に与える影響はありません。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,983,200	1,820,093
売掛金	20,151	20,236
有価証券	501	12,115
商品	29,683	35,166
繰延税金資産	71,859	71,859
その他	167,233	171,378
流動資産合計	2,272,629	2,130,850
固定資産		
有形固定資産		
建物	3,475,626	3,658,767
減価償却累計額	△2,328,572	△2,445,554
建物(純額)	1,147,054	1,213,213
工具、器具及び備品	368,746	389,587
減価償却累計額	△291,141	△303,794
工具、器具及び備品(純額)	77,604	85,792
土地	518,173	518,173
リース資産	235,272	235,272
減価償却累計額	△49,775	△85,066
リース資産(純額)	185,496	150,205
その他	2,454	2,454
減価償却累計額	△1,521	△1,801
その他(純額)	932	652
建設仮勘定	32,623	—
有形固定資産合計	1,961,884	1,968,038
無形固定資産		
商標権	3,122	1,561
ソフトウェア	10,525	14,016
無形固定資産合計	13,648	15,578
投資その他の資産		
投資有価証券	176,359	69,641
長期貸付金	85,085	82,078
敷金及び保証金	1,925,443	1,868,603
長期預金	—	100,000
繰延税金資産	100,066	99,678
その他	146,641	144,868
投資その他の資産合計	2,433,595	2,364,870
固定資産合計	4,409,128	4,348,487
資産合計	6,681,758	6,479,338

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	89,845	102,558
短期借入金	80,000	80,000
リース債務	48,606	49,401
未払法人税等	145,146	78,166
賞与引当金	88,870	29,090
株主優待引当金	21,640	7,073
その他	446,403	309,268
流動負債合計	920,512	655,558
固定負債		
リース債務	146,476	108,673
役員退職慰労引当金	111,265	118,014
退職給付に係る負債	120,398	123,663
その他	45,239	34,239
固定負債合計	423,380	384,591
負債合計	1,343,893	1,040,149
純資産の部		
株主資本		
資本金	771,682	771,682
資本剰余金	1,063,984	1,067,453
利益剰余金	3,524,030	3,692,328
自己株式	△86,269	△157,538
株主資本合計	5,273,426	5,373,924
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	29,199	28,882
その他の包括利益累計額合計	29,199	28,882
非支配株主持分	35,238	36,381
純資産合計	5,337,865	5,439,188
負債純資産合計	6,681,758	6,479,338

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
売上高	5,394,376	5,701,409
売上原価	703,585	745,862
売上総利益	4,690,790	4,955,546
販売費及び一般管理費	4,396,516	4,618,088
営業利益	294,274	337,458
営業外収益		
受取利息	2,700	1,882
受取配当金	1,465	1,771
受取家賃	42,798	21,335
投資有価証券償還益	—	5,330
その他	10,023	8,884
営業外収益合計	56,988	39,203
営業外費用		
支払利息	416	560
不動産賃貸費用	20,115	3,448
撤去費用	299	4,192
賃貸借契約解約損	—	3,000
投資有価証券評価損	1,210	—
その他	6,480	5,348
営業外費用合計	28,521	16,550
経常利益	322,741	360,111
特別利益		
受取補償金	13,064	55,000
特別利益合計	13,064	55,000
特別損失		
固定資産廃棄損	1,266	882
減損損失	21,106	—
特別損失合計	22,373	882
税金等調整前四半期純利益	313,432	414,228
法人税等	154,307	184,303
四半期純利益	159,124	229,925
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△985	1,142
親会社株主に帰属する四半期純利益	160,110	228,782



(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日)
四半期純利益	159,124	229,925
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	3,940	△317
その他の包括利益合計	3,940	△317
四半期包括利益	163,065	229,608
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	164,051	228,465
非支配株主に係る四半期包括利益	△985	1,142

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。